（団体名）一般社団法人フリースペースつなぎ
（事業名）若者就労支援事業　**ロジック・モデル**

インプット	活動	アウトプット	アウトカム		
			初期	中期	長期
つなぎでの中間就労支援					
・スタッフ2名 若者支援 ・安心できる居場所（週5日開設） ・就労体験に必要な材料	フリースペース事業 ・家以外の安心できる居場所で過ごす、人とふれあう ・フリースペース内中間就労（事務作業など） ・講座の開設 経理・ホームページなど	・就労体験（15歳～20代） 対象人数10人 実施回数400回（※欄外下記に補足あり） ・フリースペース（15歳～20代）週5回の開所	・事務などのスキルを学べる ・実際に賃金を得る経験ができ、自信につながる	・活動を通して自己肯定感や働く意欲が高まる。 ・フリースペース内で仲間ができる。地域の人とも交流できる。 ・知識や技能など働く上でのスキルアップが図られる。 ・ハローワークに登録する、アルバイトをするなどの行動につながる。	・つなぎの若者支援活動が地域に広く認知される。利用者が増える。 ・100人プロジェクトや就労体験を通じ、地域でのつながりが増え、深まる。地域で子ども若者を支える土台が作られる。 ・他団体や行政機関との関係を深め、官民連携や、地域一体となった若者支援の充実をはかる。 ・地域での仕事と若者のマッチングを行い、仕事を受注する。
			・引きこもりがちだった若者がフリースペースに参加するようになる ・家族以外との他者との関わりが増える		
学習支援					
・スタッフ、居場所 ・学習教材、ツール	・オンライン授業やレポート、テスト勉強のサポート ・進路相談など	・週5回の開所中、随時 ・対象人数7人	・学力、一般教養のアップ ・高校の単位取得 ・活動が地域に広まる	・高校卒業資格を取得し、職業選択の幅が増える。 ・学び直しをしたい利用者が増える。	
多様な学びを共につくる100人プロジェクト					
・地域の様々な職種、立場の人が100人プロジェクトに登録	・様々な講座や、人生経験のお話し会を行う ・活動を広く発信する	・100人プロジェクト 70人の登録 ・実施回数20回	・様々な仕事や生き方を知ったり体験ができ、興味関心が広がる ・地域の大人との関わりが増える	・職場の見学やインターンなど ・地域とのつながりが増え、不登校やひきこもりについて理解が深まる	

※アウトプット　就労体験の実施回数について
1回あたり1時間×1か月あたり　のべ40回×10か月＝のべ400回